

紫波ネズミ

SHIWA-NEZUMI
「環境と福祉の町」づくり情報誌

◆特集 進んでいます 元気はつらつ紫波運動

～町民総参加の健康づくり～



元気人・登場！

郷田美紀子さんから
何でも一貫性を大事に

哲学

をもつ

11月号
NO.587

私が住む宮崎県の綾町はかつてはどこにあるのか分からないといわれる町だったんです。それがいまでは七千人の町に年間百万人以上の人が訪れ、農産物をはじめさまざまな産物を買っていられます。この町が変わってきたのが今から四十年ほど前でした。私の父でもある前村長の「高度成長の開発で自分自身が育ってきた山や自然を失いたくない」という一心からだったそうです。そこで父は勉強をして「山があるから海がある。つまり自然は循環している。人間もその一部なんだ」ということに気づき、有機農業やそれぞれが持っている伝統と技術を町の産業にしようと考えたんですね。その根底にあったのは、自分たちがだれのおかげで生き、暮らしてこれたかという一貫した考え方だと思うんです。山からはいろいろな恵みがあります。山菜、コンニャクイモ、キノコなど照葉樹林が自生する綾町の山は私たちをうるおしてくれているんです。一貫性——哲学といっても良いでしょう。何でもそれが大事だと思うんです。

(十月十九日 ラ・フランス温泉館湯楽々で)

◆ごうだ・みきこ 宮崎県綾町で有機農業・漢方薬局・薬膳料理店など「食・心・環境」をトータルで経営・研究。綾町同様、全国から注目されている。

町民総参加の健康づくり 進んでいます 元気はつらつ紫波運動



町では幼児から高齢者まで健康で生きがいのあるまちづくりを進めるため、スポーツや保健、生涯学習などを中心とした健康づくり推進事業を今年度からすすめています。10月8日、体育の日にはこの事業の一つとして、町民の皆さんに楽しく、いろいろなスポーツに親しんでもらおうと「元気はつらつ」スポレク・フェスタ in 紫波」が開催されました。また元気はつらつ委員会を中心に「元気はつらつ紫波計画」の策定をすすめています。今月は町がすすめる「元気はつらつ紫波運動」についてお知らせします。



“元気はつらつ” スポレク・フェスタin紫波 で行われた全競技と参加人数

各競技団体が趣向を凝らして行ったスポーツ種目と参加人数を紹介します。

総合体育館大アリーナ		
3on3 ゲーム ロングシュートゲーム	バスケット協会	27 人
ソフトバレーボール大会	バレーボール協会	52 人
家族対抗綱引大会	綱引協会	40 人
バドミントン体験コーナー	バドミントン協会	23 人
総合体育館小アリーナ		
銃剣道競技の紹介	銃剣道協会	23 人
総合体育館卓球室		
親子卓球ラリー大会 スマッシュ大会	卓球協会	25 人
運動公園テニスコート		
ストラックアウト エンドレスラリーほか	テニス協会	40 人
運動公園野球場		
町長杯野球大会	野球協会	170 人
運動公園河川ソフトボール場		
ミニソフトボール大会	ソフトボール協会	210 人
陸上競技場		
熱気球搭乗体験	体育協会	250 人
2人で200メートル	陸上競技協会	70 人
初めてのゲートボール 実力テストほか	ゲートボール協会	88 人
ニュースポーツ体験	勤労青少年ホーム自治会	50 人
スポーツウルトラクイズ	総合体育館ほか	100 人
運動公園内		
ウォーキング	長寿健康課	80 人
グラウンドゴルフ体験 ホールインワンゲーム	グラウンドゴルフ協会	118 人
ラ・フランス温泉館プール		
水中運動 宝さがし	水泳協会	54 人
ラ・フランス温泉館運動場		
タグラグビー	ラグビーフットボール協会	80 人
スポーツチャンバラ	体育指導委員競技会	23 人
自転車競技場		
サイクリング 自転車競技場走行体験	サイクリング協会 自転車クラブ	25 人
中央公民館集会所		
ダンス交流会	フォークダンス研究会	45 人
日詰牡丹野地内射場		
アーチェリー講習会	アーチェリー協会	18 人
紫波高校弓道場		
弓道にふれあう会	弓友会	25 人
サン・ビレッジ紫波		
ちびっこ室内 サッカー大会	サッカー協会	145 人



開会式で町内小学生により発表された「“元気はつらつ” スポレク・フェスタ こども宣言」。

“元気はつらつ” スポレク・フェスタ こども宣言

わたしたちは、いつまでも、心身ともに健康で、
明るく楽しい生活を送ることを願い、次のことを宣
言します。

- 1 スポーツに親しみ、心豊かで、
たくましく生きます。
- 1 好き嫌いをしない食生活で、
バランスのとれた体を作ります。
- 1 規則正しい生活で、
病気やけがをしないようにします。
- 1 スポーツを通して多くの仲間を作り、
友情の輪を広げます。
- 1 スポーツを盛んにするため、
新県営総合運動公園を紫波町に
誘致することを応援します。

スポーツで健康づくり 千八百人がさわやかな一日を

スポーツによる健康づくりを推進しよ
うと行われた「“元気はつらつ” スポレ
ク・フェスタ in 紫波」は十月八日、総
合体育館やサン・ビレッジ紫波、ラ・フ
ランス温泉館など町内の体育施設を無料
開放し、二十四の競技が行われました。
熱気球の試乗体験のほか、ゲームやレク
リエーション感覚で各競技を楽しめると
あって、当日は延べ千八百人ほどが参加
しました。

この記念すべきイベントは新県営総合
運動公園誘致既成同盟会と町が主催し、

体育協会が企画したものです。開会にあ
たり町内十一校の小学生による「“元
気はつらつ” スポレク・フェスタ こども
宣言」も行われました。

町ではこれまで、町内全域から大勢の
人が集まる最大のスポーツイベントとし
て町民運動会を二年に一度、開催してい
ましたが、このように子どもから高齢者
まで気軽に参加し、楽しめるイベントは
初の試み。体育協会傘下の各競技団体が
企画、運営したものです。町では生涯ス
ポーツの振興と健康づくりの重要性を、
町民や関係団体、行政がともに認識し、
運動を展開していこうというもので、来
年度以降も継続して行われる予定です。

「元氣はつらつ紫波計画」の 今年度中の策定に向けて

充実した計画の策定を目指し
四つの専門部会で検討会実施

町の健康づくり推進事業のかなめともいえるのが、長寿健康課や社会教育課など四課二施設で構成される健康推進室。今年度から始まった紫波町総合計画基本構想、基本計画を受けて、皆さんの健康づくりの基本となる「元氣はつらつ紫波計画」の策定のため、連携して対応しています。

計画の策定にあたっては七月に行なった小学生から八十代までの七百十四人のアンケート調査の結果に基づき、元氣はつらつ委員のほか元氣な高齢者や健康実践者などで組織する四つの専門部会（①栄養・食生活 ②運動・身体



「21世紀に伝える健康づくり発表会」は10月9日の日詰、古館、赤石地区を皮切りに、29日は東部地区、31日は西部地区と全域で行われました。内容は冊子にまとめ 公民館などに配布されることになっています。

活動 ③ いやし（休養・こころ） ④ 保健）で検討を重ねています。これらを集約し、一般公募による健康づくりプランナーや医師、学識者などで構成される元氣はつらつ委員会と健康推進室が一体となり、計画の今年度策定を目指します。

また同時に、水中運動やウォーキング、調理実習など具体的な行動計画も立て、学校、企業のほか地域などとも連携しすすめていきます。

これまでの町の健康づくり推進事業の取り組み

町では健康づくり推進事業の実施が決定してから、積極的にイベントやセミナー、組織作りを行っています。左表のほかに研修などを実施し、皆さんがいきいき楽しく暮らせる環境づくりに取り組んでいます。今後も各種催しをお知らせしますので、ぜひご参加ください。

4月17日	けやき学園水中運動開講式
5月1日	健康推進室設置（元氣はつらつ紫波計画の策定、推進のため、関係課の職員18人により構成。事務局を長寿健康課に置く）
5月7日	元氣ゼミナール開講式（体育協会主催、高齢者スポーツ教室）
6月1日	元氣はつらつ委員会設置（健康づくりの基本となる「元氣はつらつ紫波計画」を策定推進するため、公募委員のほか医師、学識者、スポーツ団体、福祉団体、学校、行政などからの19人で構成）
6月12日	若返りセミナー開講式（高齢者が健やかに暮らしていくことができる地域づくりと運動習慣の定着を目指し、食と運動の実践）
7月1日～31日	計画策定の基礎資料とするためのアンケート調査。小学生から80代までの714人に実施
7月15日～8月20日	歩行数調査実施。170人に1日にどれくらい歩いているか3日間調査
8月20日	元氣はつらつ新聞創刊号発行
9月8日	歴史探訪 楽々ウォーキング&地産地消ヘルシー試食会実施 104人完歩
10月8日	元氣はつらつスポレク・フェスタ in 紫波 ガラガラぼん ウォーキング実施 80人完歩
10月9日	若返りセミナー「21世紀に伝える健康づくり発表会」日詰・古館・赤石地区
10月13日～14日	産業まつり 元氣はつらつコーナー 体力測定コーナー、カロリー当てクイズ
10月18日	栄養・食生活部会開催
10月19日	運動・身体活動部会開催
10月22日	保健部会開催
10月26日	いやし（休養・こころ）部会開催

好評ウォーキングマップも計画 ウォーキングマップ製作も

だれでも気軽にできて、健康づくり
に最適なのがウォーキングです。九月
からすでに三回行いましたが、いずれ
も好評で回を重ねることに参加者が増
えてきています。今年度は二月にあと
一回実施する予定です。町では公民館
や学校を起点とし、距離と所要時間な
どを示したウォーキングマップを作成
する予定です。歴史など町の紹介をし、
仲間同士で利用できるものと期待して
います。

「元気はつらつスポレク・フェスタ in 紫波」で行わ
れた「ながらぼんウォーキング」ウォーキング
の最後に福引きができたことあって、皆元気に帰っ
てきました



元気はつらつなまちづくり「わたしの提言」

山岸毅さん（日語）
紫波町体育協会会長



スポーツをはじめる
のに年齢は関係なし

体育協会では今年度から町の体育施
設の管理と運営を町から全面的に委託
されました。これは町がすすめるスポ
ーツを取り入れた健康づくり事業をよ
り効果的に推進するためのものと考え
ています。

今回の「元気はつらつスポレク・
フェスタ in 紫波」は、多くの町民が参
加できるイベントをということで、協
会に所属する各競技団体のご協力をい
ただき企画いたしました。参加者から
は「参加して良かった。楽しかった」
などの声が聞かれ、一年目としては成
功したと考えています。まずスポーツ
に関心をもってもらうことが大切。来
年度以降はもっとPRして、さらに多
くの皆さんに参加いただけるように企
画したいと考えています。

スポーツを始めるのは何歳からでも
遅くはないと思います。わたし自身も
柔道をやってきましたが、今でも体を

動かすようにしています。今回のイベ
ントがきっかけになって、皆さんがス
ポーツに親しんでくれることを願って
います。また新県営総合運動公園誘致
が決定すれば、健康づくり事業もより
弾みがつきますね。



須川ヨシエさん（宮手）

立分ヨシさん（宮手）

このイベントを契機に
ダンスの活動の再開も

スポレク・フェスタではダンス交流
会に参加しました。実はわたしたちも
地区の仲間とハニーデイスクラブ
という名前で、十五年間活動をしてい
ましたが、参加者が少なくなり、この
三月で活動を中止したばかりなんです。
でも久しぶりに体を動かして、とて
も楽しかったですね。動いて汗を流す
と、次の日は不思議と体の調子が良い
のです。楽になります。若返り効果も
あるんですね。二人でまた皆に声をか
けて、活動を始めようかと話している
ところなんです。また集まっておし
やべりがたのしいですね。

北田一夫さん（二日町）
紫波町バスケットボール協会会長



いたわりや感謝の
気持ちをスポーツで

古館バスケットボールスポーツ少年
団の指導をして、今年で十年になりま
す。現在、男女あわせて四十一人の子
どもたちが参加していますが、週三回
の練習を皆、楽しみにしています。

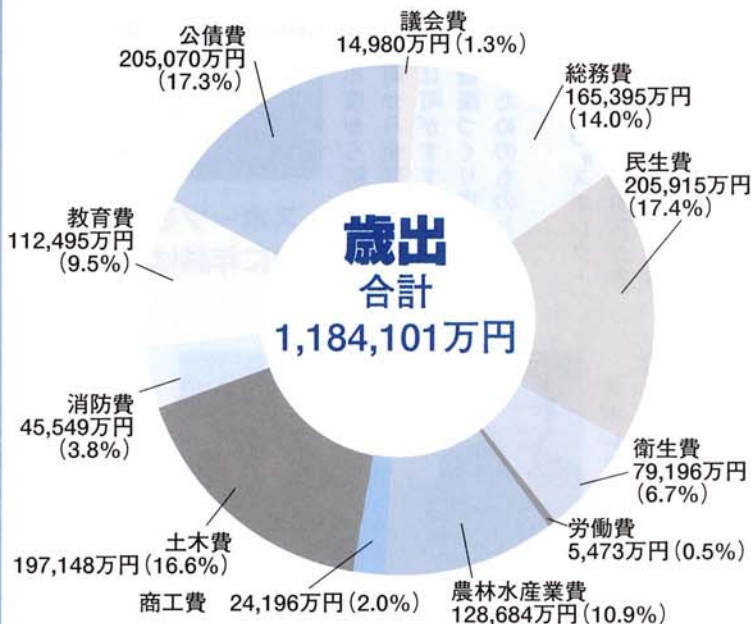
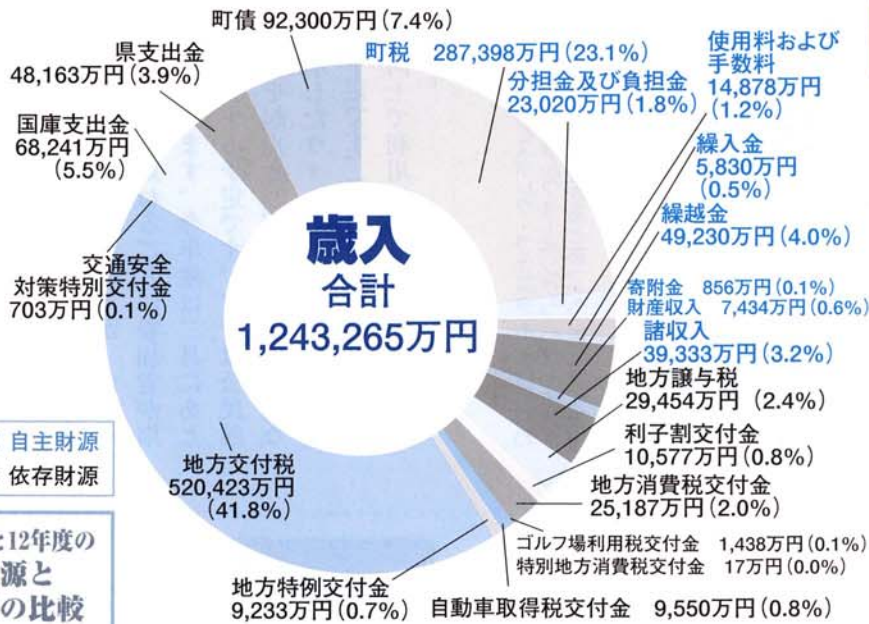
こうして続けてきて感じることは、
子どもたちがどんな不器用になっ
ているということです。つかんだり、握
ったりという基本的な動作ができない
子どももいます。昔、わたしたちがや
った木登りやキャッチボールなどの遊
びの経験が少ないのだと思います。

バスケットに限らず、スポーツは友
達関係、先輩や後輩への尊敬やいたわ
りの気持ち、仲間や父母への感謝の気
持ち、自分や仲間のために頑張ること、
そのほかにもさまざまなことを学ぶこ
とができます。今回のイベントをきつ
かけにより多くの人がスポーツを通し
た健康づくりを目指してほしいと思
います。

自主財源比率がアップし
町債発行を必要最低限に

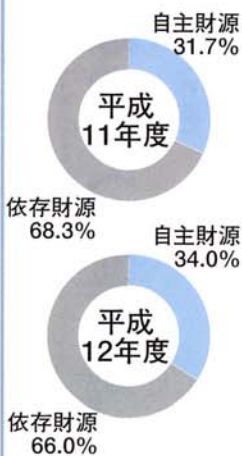
より自立した 町に一歩前進

平成十二年度の一般会計と七つの特別会計、水道事業会計の決算が九月定例町議会で認定されました。これは昨年一年間に町に入ってきたお金がどのように使われたかを表した、いわば町の家計簿。町づくりのための予算がどのように活用されたのか、決算のあらましをご紹介します。



青文字：自主財源
スミ文字：依存財源

平成11年度と12年度の 自主財源と 依存財源の比較



自主財源：町税や施設の使用料など、町が独自に用意できる財源
依存財源：地方交付税や国・県支出金・町債などのようにほかに依存する財源

一般会計

町では皆さんの声を聴きながら、福祉や生活環境の整備のため、限られた財源の中、さまざまな事業を展開してきました。通常の業務をすすめるための一般会計の決算額は歳入で一二四億三、二六五万円、前年度と比較すると一二・三ポイントの減少になりました。一方、歳出は一一八億四、一〇一万円と、こちらも一三・五ポイントの減少で、いずれも十一年度より減少となっています。それでは歳入、歳出ごとに見ていきましょう。

自主財源の割合がアップ 町債をおさえた歳入

一般会計決算の歳入を前年度と比較すると、総額で一七億五、〇〇二万円少ない一二四億三、二六五万円となりました。これは町税や国庫支出金、県支出金、町債など約半数の項目で前年度より減少しているためです。また町に入ったお金を性質別に見ると、町税や施設を利用したときに支払われる使用料など町が独自に用意できるお金「自主財源」は四四二億二、三五四万円で前年度と比較すると二億六、九七三万円少なくなっていますが、全体の割合で見ると三四パーセント、前年より二・三ポイント高くなりました。これは町債などの「依存財源」を低く抑えたことで、全体としては「自主財源」の割合が高くなったものです。

歳出のトップは民生費 高齢者や保育のための施設整備を

次に歳出を見ると総額で一八億四、一〇一万円、昨年より一三・五ポイント、一八億四、九三六万円減少しています。歳出のトップは昨年同様、民生費の二〇億五、九一五万円が全体の二七・四パーセントを占めています。次に公債費、土木費、総務費と続きます。それぞれ目的ごとの主な事業をご紹介します。

平成12年度 一般会計主要事業

項目	事業名	事業費	内 容
総務費	○文書管理のためのファイリングシステムを導入	404 万円	総務課・企画課・農林課・農業委員会・議会事務局に導入
	○日詰西地区パークアンドライド駐車場整備事業	10,012 万円	4 月 23 日オープン、面積 11,150㎡ / 駐車台数 376 台
民生費	○高齢者生活福祉センター・こもれび新築	15,100 万円	独居生活に不安をもつ高齢者のための施設。面積 712.09㎡
	○生きがい対応型デイサービス施設・シニアプラザ佐比内新築工事	3,199 万円	いきいきプラザ赤石、紫波総合福祉センターにつづき 3 カ所目。面積 143.92㎡
	○銭形平次会館の購入	3,428 万円	紫波町在宅介護支援センター、シルバー人材センター、長寿社会系の施設として利用。 土地面積 406.61㎡ / 家屋面積 338.92㎡
	○古館保育所園庭整備	218 万円	
	○環境・循環基本計画策定事業	290 万円	町の環境の指針となるものです
労働費	○緊急地域雇用対策事業（下記）	1,012 万円	
	【事業 1】 東根登山道環境美化	79 万円	東根登山道周辺の危険箇所などの補修、美化作業
	【事業 2】 バリアフリー度調査マップ作成	413 万円	町内の店舗、施設のバリアフリー度を調査し、マップ作成
	【事業 3】 町管理河川の環境美化	206 万円	河川流水障害物の除去
	【事業 4】 公立学校図書館図書情報電子化準備	210 万円	図書情報のデータベース化作業
	【事業 5】 学校支援パソコンインストラクター養成	104 万円	学校図書室解放に伴う操作指導員養成
農林水産業費	○新しいわて農業再編総合対策事業（県単補助事業）	3,725 万円	生産施設整備補助（対象 10 組合）
	○経営構造対策事業	2,700 万円	長岡地区産地形成促進施設補助（1 棟）
	○林業振興	1,570 万円	林道芳沢線開設 139 m
		13,400 万円	林道大久保線整備 248 m
商工費	○温泉源泉湯設備更新	1,365 万円	古館こどもの家増築（木造）増築 42㎡
土木費	○道路新設改良	22,197 万円	道路改良（5 路線 915 m）・舗装新設（5 路線 1,591 m）ほか
	○河川改良	5,505 万円	平沢川改良 128 m
	○日詰駅前地区土地区画整理事業	3,570 万円	基本計画策定
	○街路事業	5,771 万円	都市計画街路希望ヶ丘線歩道舗装 337 mほか
	○住宅建設	33,830 万円	町営朝日ヶ丘北住宅建て替え 5 階建 30 戸 2,187㎡
消防費	○消防ポンプ自動車購入	1,344 万円	
教育費	○小学校便所・車庫などの新增築	21,840 万円	古館小屋外便所、片寄小便所、赤沢小車庫
	○体育施設維持管理	978 万円	陸上競技場観覧席防水修繕工事ほか
	○給食センター改修	1,376 万円	

特 別 会 計

町には一般会計とは別に、特別な事業をすすめるための7つの特別会計と水道事業会計があります。介護保険事業と介護サービス事業は12年度から新たに特別会計に加わったものです。

（単位：万円 %）

予算名	事業名	歳入	前年比	歳出	前年比	差額	事業内容
特別会計	日詰西地区土地取得事業	2,030	-93.9	2,022	-93.9	8	中央駅前二丁目の用地89,570㎡の管理
	公共下水道事業	151,400	-0.1	148,644	-0.1	2,756	二日町、北日詰地区ほか管路整備、行政人口に対する普及率43.9%
	農業集落排水事業	91,330	-0.3	89,100	-0.3	2,230	長岡南地区処理施設と管路整備（13年供用開始） 片寄地区処理施設と管路整備（14年度供用開始予定）
	国民健康保険事業	227,280	0.1	221,512	0.1	5,768	国民健康保険加入状況は4,589世帯、10,265人。加入割合29.1%
	老人保健事業	318,172	-0.1	318,081	-0.1	91	老人医療受給者数は年間平均4,510人、前年比4.1%の伸び。医療諸費は31億5,249万円で前年より5.7%減
	介護保険事業	110,628	皆増	103,628	皆増	7,000	65歳以上の第1号被保険者6,777人、40歳～64歳の第2号被保険者11,876人。介護認定者は第1号・709人、第2号・24人
	介護サービス事業	796	皆増	780	皆増	16	町指定介護支援事業所では156人と契約
	特別会計合計	901,636		883,767		17,869	
企業会計決算 〔水道事業〕	収益的収支	65,477	-0.1	61,742	-0.2	3,735	給水人口 31,296人（前年比較693人増）、総人口に対する割合91.9%。総配水量2,859,461㎥、有収率77.80%（前年比較0.01%増）。 当年度純利益 1,762万円
	資本的収支	37,870	-0.3	50,596	-0.2	-12,726	資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億2,726万円は過年度の留保資金などを充てています

はじまります 情報化のまちづくり

インターネットやEメールなど、高度情報化時代は日々進歩しています。町ではこうした状況を皆さんがどう考えているのか、またまちづくりにどう反映させてほしいのかを具体的に知るために、「紫波町ITアンケート」を行いました。

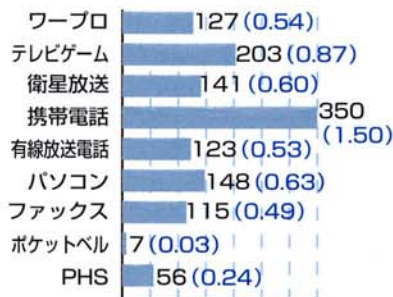
ここではそのアンケートから一部を抜粋するとともに、今年度中に策定が予定されている紫波町情報化基本計画についてお知らせします。

※グラフの数値は設問順になっています

家庭にある機器は？

～めざましい携帯端末の普及～

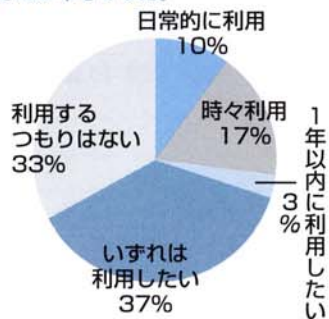
家庭にある機器について聞いた設問です（複数回答）。（ ）内は1世帯当りに換算した台数です。3年前の県の調査では1世帯当たり0.28台だったパソコンが、今回の調査では0.63台と倍以上に増えています。また携帯電話の普及も目を見はるものです。



インターネットの利用は？

～4分の1がすでに利用～

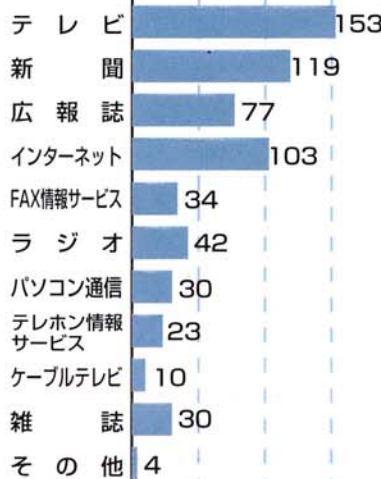
インターネットの利用状況の設問。4分の1の人が利用していて、これからの利用を考えている人も含めると、7割近くの人が興味を持っている結果になりました。経験者は男性が多く、20～50歳代の働き盛りの皆さんが中心でした。



情報の入手で便利な方法は？

～インターネットへの大きな期待～

自分がほしい情報をどう入手するのが便利かという設問（複数回答）。操作が手軽なテレビやポピュラーな新聞に続き、インターネットが挙げられています。このほかにも双方向で連携しあえる情報伝達が注目されているようです。



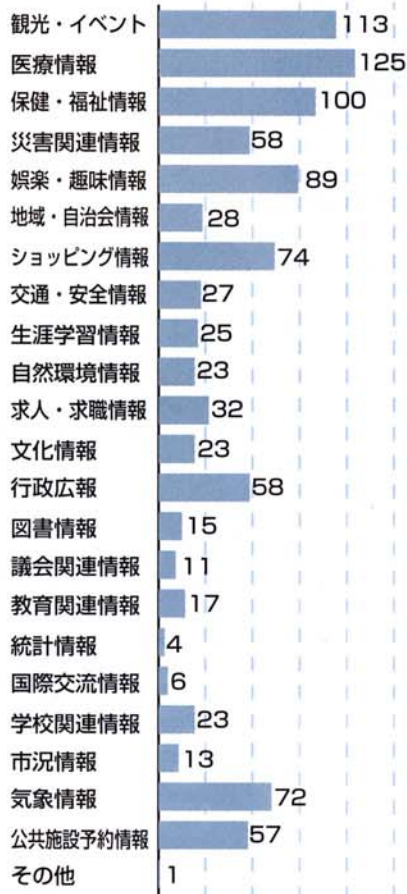
紫波町ITアンケートについて

このアンケートは、「紫波町情報化基本計画」に反映させることを目的に行われました。調査方法は9月1日現在、町に住んでいる20歳以上の人を対象に、人口比率をもとにした500人を無作為に抽出、9月6日に郵送し、9月28日到着分までを集計しました。集計数などは次のとおりです。

発送数	有効発送数	有効回答数	有効回収率
500	499	234	46.80%

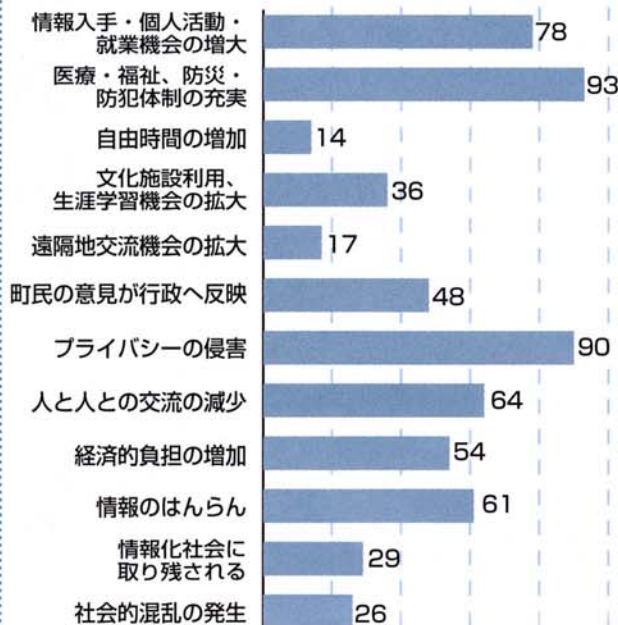
アンケートなどを参考に、紫波町IT懇話会の会合も開かれました。さまざまな分野の皆さんが、現状と未来について語り合いました。





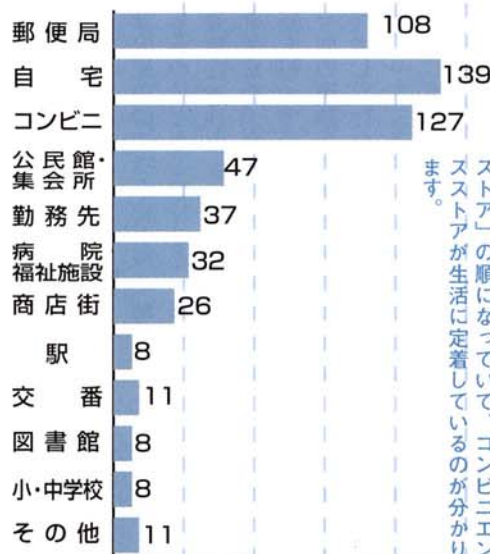
家庭で入手したい情報は？ ～多くは医療・福祉と娯楽分野～

希望数が多かったベスト5は①医療情報 ②観光・イベント情報 ③保健・福祉情報 ④娯楽・趣味情報 ⑤ショッピング情報の順でした。グラフでは掲載していませんが、この後の設問で「早期に実現してほしい通信を利用した情報提供は？」の設問でも、保健・医療・福祉に対する希望がもっとも多くなっていました。一方、現状のインターネットの利用で多かったのが、趣味・旅行など身近な情報入手で利用している人がトップ。これからのインターネットがより重要な情報を提供してもらいたいという期待の表れた結果となりました。



情報化社会のイメージは？ ～とても便利、でも危険という認識も～

進みつつある情報化社会のイメージを聞いた設問（複数回答）。さまざまな可能性が広がることに期待しながらも、プライバシーの侵害や交流の減少など、インターネットの利便性と危険性の両面が認識されていることが分かります。



役場以外で行政手続きを行うとしたら？ ～コンビニエンスストアが生活に定着～

印鑑証明や住民票などの行政手続き、公共施設予約などの行政サービスの利用を、役場以外の場所で行えるとしたらどこが利用しやすいかという設問（複数回答）。「自宅」「コンビニエンスストア」「郵便局」が非常に多い結果となりました。岩手県の調査では「郵便局」「自宅」「コンビニエンスストア」の順になっていて、コンビニエンスストアが生活に定着しているのが分かります。

紫波町情報化基本計画策定に向けて
町では今回のアンケートをはじめ、左図のようにさまざまな意見・提言を反映させた「紫波町情報化基本構想」と「紫波町情報化基本計画」を今年度末を目標に策定します。皆さんの生活の利便性の向上と福祉のための効果的な利用、さらに子どもたちの教育環境など多方面にわたる予定です。計画策定に向け、今後ともご協力をお願いします。

紫波町情報化基本計画

情報化基本構想

町 各課の代表で構成したプロジェクトで職員の見解を反映させます

住民ニーズのとりまとめとイメージ作り

- IT推進委員会
- 町内IT関連企業
- 県立大学
- 大学生支援グループ
- ITボランティアの会
- 紫波みらい研究所
- など組織

- 紫波町IT懇話会
- JA岩手中央
- 紫波町商工会
- ほん太ネット
- 国際交流協会
- 参加希望町民
- など各種団体や町民の皆さんによる懇話会

パブリックコメント

皆さんからのご意見をうかがい、反映させます

総合計画基本計画

総合計画基本構想



悩み話し合おう 子育て座談会

今回の座談会は、古館地区のボランティアで、日ごろの育児の悩みや疑問を話し合う座談会が行われました。食事やしつけ、そのほか気になることなど、多くのお母さんが抱えるさまざまな悩み・疑問の中から、おもな内容をお伝えします。

古館保育所内の子育て支援センターでは、育児相談のほか保育所や幼稚園に入る前の子どもとお母さん、お父さんを対象に遊びの広場を開設するなど、さまざまな子育てサポートの中心的な役割を担っています。

今回の座談会は、古館地区のボランティアで、日ごろの育児の悩みや疑問を話し合う座談会が行われました。食事やしつけ、そのほか気になることなど、多くのお母さんが抱えるさまざまな悩み・疑問の中から、おもな内容をお伝えします。

古館保育所内の子育て支援センターでは、育児相談のほか保育所や幼稚園に入る前の子どもとお母さん、お父さんを対象に遊びの広場を開設するなど、さまざまな子育てサポートの中心的な役割を担っています。

今回の座談会は、古館地区のボランティアで、日ごろの育児の悩みや疑問を話し合う座談会が行われました。食事やしつけ、そのほか気になることなど、多くのお母さんが抱えるさまざまな悩み・疑問の中から、おもな内容をお伝えします。

問い合わせ 子育て支援センター
Tel/Fax 671-2200

伝え板



子どもも親も 元気のもと 食事から

Q 離乳食を食べてくれないんですが、何か良い方法は？

A 焦らずゆっくりすすめましょう。栄養が足りないのではという心配もあるようですが、運動面や顔の表情など全体的な発達を見て判断して元気ならば大丈夫。たくさん遊んであげて、お腹をすかせてあげましょう。

Q 生卵・牛乳・生水はいつから与えたら良いのでしょうか？

A なま水は離乳食が三回食になる七、八カ月ごろから大丈夫だと思います。卵と牛乳については保育所では一歳の誕生日を過ぎてから与えるようにしています。卵はアレルギーの原因になりやすい食品で、生卵は衛生管理が難しいので、きちんと火をとおして食べるのが望ましいですね。また牛乳も最初は少量、冷たくなりすぎないように気をつけて与えるといいと思います。

Q テレビを見ながらの食事はいいの？

A (参加したお母さんから) 成長に合わせる、食べ歩きの時期にはテレビを利用しました。ある程度分別がつくようになったら好きな番組の前に食事をさせ、食べたから見ようにしています。好きな番組になると食事もおぼろげにテレビを見るため、すぐにお腹いっぱいになりますから。

Q 左利きは直した方が良いのでしょうか？ 直すとしたらいつごろが良いのでしょうか？

A 子どもは左から発達しやすいとされています。ですから左手を多用するからといって左利きと決めつられませんか。また無理やり直さなくても良いという意見もよく聞きます。どうしても気になるなら、さりげなく右に持ち替えてあげると良いでしょう。





Q 育児書には「ダメダメ」を連発しないようにして、叱るときはきちんと叱るようにありますが、うまくいかず自己嫌悪におちいつてしまっている…

A 行動を制止するだけでなく、代わりにやるものを用意してあげることも一案。子どもは一人ひとり違ってあたりまえです。育児書はあくまで参考にとりくんで利用しましょう。「ダメ」というのも子どもを思う心から出る言葉は必ずしもその子自身の性格や特性を見て、子どものための「ダメ」なら問題ないと思いますよ。

Q お友だちとおもちゃの取り合いになると、すぐあきらめて泣いてしまっている…

A 優しい気持ちのお子さんなのだと思います。時期がくれば主張もするようになると思います。自然にゆったりと接してあげましょう。

子どもの仕事は食べて、寝て、泣いて、笑う。そしてしかられること。

Q 悪いことをすると「しまった」と思うようですが、「ごめんなさい」が言えません。友だちにも「かして」「いれて」が言えなのです…

A 「しまった」と思っている気持ちをくんであげることが大切。気持ちのこもらない「ごめんなさい」にならないようにしたいものです。なかなか口に出せない性格もある中で、一緒に声を出してあげてもいいと思います。

Q 買い物のたびに何かをほしがり、聞き入れてもらえないと自分の頭をたたいてダダをこねます。「ひとつだけね」といって買い与えるのは良いのでしょうか。

A 要求をすべて聞き入れていては良くないですし、がまんばかりでも良いとは思えません。そのバランスを各家庭で保っていきけるようにすることが大切です。例えば買い物の回数を減らすとか、習慣を変えてあげるなどの環境変化もいいと思います。



やんちゃな子どもたちだから心配もいっぱい

Q 後追いで困っています。どこまでもついてくるんです…

A だれもが経験することです。保育所などにあずけたりする場合は「絶対振り向いちゃいけない」というお母さんもしました。大変ですが、時期がくればおさまるものです。

Q 指しゃぶり、おしゃぶりはやめたほうが良いのでしょうか？

A 三歳未満なら問題ないとはいわれていますが、それを超えても強い吸引型の指しゃぶりを続けると歯並びに影響する場合もあるようです。どんなときに指しゃぶりをするか観察し、そうした状況になったら違う方向に興味をもたせていくのが良いでしょう。寝つきるときは無理に取ったりせず、寝つけたらはずしてあげると良いと思います。

Q 絵本を読んであげるんですが、遊びに熱中して聴いてくれないんです…

A 絵本はたくさん読んであげてほしいですね。遊びに夢中のときではなく、寝る前とかが良いでしょう。最初は子どもが見たいと思う絵本を選ばせてあげて興味を引くようにした方が喜ぶと思います。

Q かぜなどのとき、鼻づまりで苦しそうなんです。対処法は？

A 親が口で吸い取ってあげる方法もあるのですが、最近は専用のストローも市販されているようです。また湿気や湯気が効果がありますので、乾燥をさけて、蒸しタオルなどをそばに置いてあげるのもいいようです。

Q 日中、親子で鼻息に聞こえてしまっている…

A 話をしてあげなくてはとってしまいます。その焦りがさらに悪循環となりますので、そのとき、その場で感じたことを「きれいだね」「かわいいね」など、素直にこばにしていってあげましょう。

子育て支援センターではすくすく広場の日程は紫波ネットお知らせ版カレンダーを参照ください。このほか育児相談、一時預かり保育などさまざまな活動を行っています。どうぞお気軽にご相談ください。

問合せ 子育て支援センター（古館保育所内） ☎671-2200

子ども同士、親同士も仲良く



11月の「ふれあいパママランド」は保育所合同の「うんどう遊び」です。歩ける子どもなら、だれでも自由に参加できます。申し込みは子育て支援センターまで。

期日 11月17日（土）
時間 午前10:00～11:30
場所 総合体育館

子育ての悩みなどのご相談は





二日間で二万二千人 にぎわった産業まつり

今年で十八回目となる恒例の産業まつりは十月十三日と十四日の両日、サン・ビレッジ紫波で開催されました。おなじみのもちまきでスタートしたまつりは、天候にも恵まれ二日間で約二万二千人が詰めかけ、大変な

ざわいを見せました。会場では屋内のほか屋外広場、外周などに七十八団体の自慢のコーナーが所狭しと軒を並べ、町の特産品や産業が一挙に紹介されました。訪れた人は買い物やそれぞれ趣向こらしたイベントを思い思

いに楽しんでいました。またトーマス号やエアースライダーのほか、犬や動物と遊べるふれあいランドやチビッコ動物園のイベントなど子どもが楽しめるコーナーもあり、家族連れの姿が多く見られました。また今年もJA紫波地域収穫感謝まつりも農協本所会場で同時開催されました。

2日目のもちまきも大盛況。たっぷり用意されたもちがあつという間になりました



木工教室など参加型のブースも人気でした



JA収穫祭では手巻きもち88mが見事に完成

岩手の秋の魅力を満喫 ヤッホーいわてツアー

東京練馬区の住民など二十人が参加し「ヤッホーいわてツアー」が九月二十七日から二十九日まで、紫波町、大迫町、宮守村、三陸町と秋の岩手を横断するコースで行われました。これは首都圏の紫波町出身者で組織されている「紫波町ふるさと会」との協力で昨年から行われているもので、新鮮な野菜やフルーツが



自慢の産直や観光ブドウ園、大迫町のガラス工房などを回り、参加者は岩手の秋を満喫しました。

晴天の秋の休日に八十人が力走 山王海ダムで町民マラソン大会

町民マラソン大会が十月十四日、約八十人が参加し、晴天の山王海ダム周辺のコースで行われました。参加者は豊かな自然を満喫しながら、個人の部や団体の部など、それぞれの部門ごとに記録を競いました。各部門の優勝者は次のとおりです。(敬称略)

中学生男子の部…三上譲(紫波一中)、一般男子の部…鎌田健佑(佐比内)、一般女子の部…大河原宮子(日詰)、四十歳以上の部…須藤明助(中島)、ファミリーの部…小山田幸広、麻生(高水寺)、小学生男子継走の部…高橋優光・松田秀光・玉山雅人・高橋諒磨(赤石小)、小学生女子継走の部…橋本樹佳・久慈瑞希・高橋友美小笠原智美(日詰小)



平成四年からの工事が結実 晴れやかに山王海ダム完工式

国営山王海農業水利事業がこのほど完成し、これを記念し、十月二十五日完工記念式典が管理事務所前で行われました。式典には国や県のほか石鳥谷町、矢巾町の関係者など約五十人が参加し、山王海土地改良区の浦田文好理事長の揮毫による記念碑の除幕式も行われました。来年春には石鳥谷町、矢巾町と三町に広がる水田約三、九〇〇平方メートルのかんがい用

水源として、供用開始が予定されています。



タイ料理で国際交流 講師は花籠マリニーさん

紫波町国際交流協会が企画して十月七日、彦部在住のタイ出身者、花籠マリニーさんを講師に、勤労青少年ホームでタイ料理作りを教わりながら、交流を深めました。参加者はトムヤンクンなど五種類のタイ料理に挑戦。当日はタイやベトナム、中国出身者も参加し、日本での生活の印象や冠婚葬祭の違いなどの話題で、

楽しい時間を過ごしました。



記念すべき大会優勝は紫波二中 中学校ラグビー大会で交流

第一回紫波町中学校ラグビー大会が十月二十一日、総合運動公園陸上競技場で開催されました。この記念すべき第一回大会に参加したのは、町内三中学校の代表約九十人。選手らは父兄や関係者などの声援を受け、日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。また大会では中学生のさわやかな笑顔となごやかな交歓が印

象的でした。

結果は次のとおりです。
優勝…紫波二中
準優勝…紫波三中



福祉の増進を目指し 社会福祉大会開催

町民の福祉の増進を目的に紫波町社会福祉大会が十月二十七日、JAいわて中央本所パーフルパレスで開催されました。大会には関係者など約四百人が参加し、社会福祉に功

健康から」と題するレッゴ―正児さんの記念講演が行われました。

また十月三十日には県主催の社会福祉大会が行われ、長い間、家族の在宅介護者としての努力が認められ、佐々木敬子さん（佐比内）が県知事感謝状を受賞しています。

また十月三十日には県主催の社会福祉大会が行われ、長い間、家族の在宅介護者としての努力が認められ、佐々木敬子さん（佐比内）が県知事感謝状を受賞しています。



書簡から見る胡堂、啄木像 企画展は十一月末まで開催

野村胡堂・あらえびす記念館では「書簡に見る胡堂と啄木」盛岡中学同級



生の便りから」と題する企画展を開催しています。これは平成十年に発足した盛岡市先人記念館、原敬記念館、（財）石川啄木記念館の四館による盛岡地区人物記念館館長懇談会の連携がきっかけとなり、石川啄木記念館と共同で開催されたものです。盛岡中学の同級生の書簡や啄木日誌に見られる胡堂、啄木像が紹介され、大変、興味深い内容になっています。

なお企画展は十一月末まで開催されています。ぜひお出かけください。

安心のまちづくりに貢献 藤原恒久さん全国表彰受賞

長年の地域安全活動による安心のまちづくりへの貢献が認められ、南日誌の藤原恒久さんがこのほど全国防犯協会連合会防犯栄誉銅賞を受賞されました。県内の受賞者はあわせて九人、十月十二日にエスポワールいわてで開催された岩手県地域

安全大会の席上で披露、伝達が行われました。



秋の山王海ダムを満喫 第3回紫波町環境探検隊



環境探検隊が散策した山王海ダム

かつては水争いなど悲しい歴史も残るこの地域を潤してきたのが山王海ダム。今年さらに貯水量が増え周辺に水を供給できるようになりました。

志和稲荷神社●



山王海ダムは、昭和27年に造られたアースダム（土のダム）が約20m高くなり、中心遮水ゾーン型ロックフィルダム（土と岩石のダム）として生まれ代わりました。ダムを造るための土や岩石は、ダム周辺から掘削されたものをおもに使っています。

新山王海ダムは高さが61.5m、貯水量は約4倍（約3800万トン：東京ドーム30個分）になります。

石鳥谷町に平成3年に完成した葛丸ダムと山王海ダムは2本のトンネルで結ばれ、冬の間に葛丸川流域で集めた水を導水トンネルで山王海ダムへおくり（年間約1000万トン）、水が必要な時期には取水トンネルで同じ量の水を葛丸ダムへ戻す仕組みになっています。このダムの完成のおかげで、水不足の心配が減ることになりました。

山王海ダム完工を記念し イロハモミジなどを記念植樹

紫波みらい研究所が主催する秋の紫波町環境探検隊は十月二十八日、町内の小学生と父兄二十八組のほか関係者など約百人が参加して行われました。まずは紫波みらい研究所の高橋力所長と声を合わせ、元気にあいさつでスタート。またダムの完成を記念して行われた植樹には東北農政局山王海鹿妻農業水利事業所や山王海土地改良区のほか石鳥谷町、矢巾町などの関係者も参加し、イロハモミジとヤマボウシの二種類が植えられました。

紫波みらい研究所が主催する今年度二回目の紫波町環境探検隊は十月二十八日、山王海ダム周辺の散策路で行われました。秋の自然を満喫した環境探検隊の様子をお伝えします。

美しい紅葉に囲まれ なかなか見られないダム内部も見学

参加者は東北農政局水利事業所の職員の説明を受け、ダム内部の見学をしました。なかなか見られないとあって、熱心にメモをとったり、質問したりする姿も見られました。

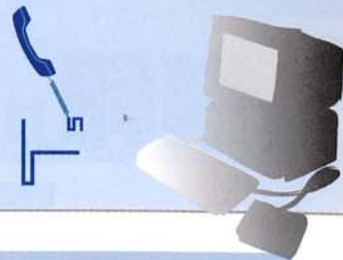
昼食後は四つの班に分かれてダム周辺の約1キロを散策。日本野鳥の会のメンバーなど野鳥や樹木、植物に詳しい講師が案内役になりました。参加者は水辺でくつろぐマガモ、カルガモ、樹木や植物の観察、木の実やキノコの発見など思い思いに楽しみました。また色とりどりの美しい紅葉に、時折感嘆の声も聞かれました。

なお今回の環境探検隊は昨年六月の環境イベント、七月の彦部地区での探検につづき三回目の実施で、来年度以降も行われる予定です。

紫波町環境探検隊にご協力いただいた講師の皆さん（敬称略）
鳥の講師 藤原淳男、柴田俊夫、横沢隆雄、佐賀耕太郎（以上、日本野鳥の会）／木の講師 高橋征司、菅川博勝／植物の講師 多田友夫



情報



雪の季節になってきました

除雪作業にご理解とご協力を

町では本格的な雪の季節の前に、除雪作業の準備を進めています。除雪の作業に取りかかるのは一五センチ以上の積雪が見込まれるとき、または前夜の積雪が一〇センチ以上のときです。

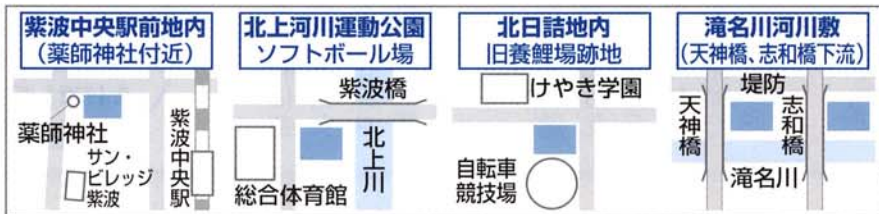
今年の除雪作業も町所有の除雪車のほかに、建設会社の機械の応援もいただき実施する予定です。スムーズな除雪と安全な通行を確保するため、次のことにご協力をお願いします。

- ◆除雪車の作業の支障になる路上駐車はやめましょう
- ◆道路に張り出した樹木の枝切りはお早めに
- ◆雪は道路に出さず、敷地内で処理しましょう
- ◆除雪機械の特性として、除雪した雪が住宅の入口付近にも集められ、ご不便をおかけする場合があります。そうならないよう努力していますが、発生した場合は、除去などについてご理解とご協力をお願いします。
- ※歩道も除雪していますが、歩道用除雪車の台数に限りがありますので、地域で連絡しあい、通学路の確保にご協力をお願いします。

雪捨て場のご案内

町内に4カ所の雪捨て場を設けましたのでご利用ください。ごみなど雪以外のものは絶対に捨てないください。

が雪捨て場です



吹きだまりなど通行しにくい個所がある場合、融雪剤が必要な個所がある場合は次にご連絡ください。

◆連絡先 土木課維持係 ☎ 6722111 内線514・515 有線018911

食卓には安全な「しわ牛」を！

しっかりとした生産管理

町の基幹産業は農業。町には米や野菜、果樹を栽培する農家のほか、畜産など複合型農家も多くあります。最近、狂牛病が新聞やテレビで問題になり、町の生産者も苦境に立たされています。町の生産者は牛の健康状態を、日ごろから獣医師などと連携してチェックしています。また調査したところ、町では感染源といわれる肉骨粉などが含まれる飼料は使われていませんでした。食肉処理場でも牛の解体の際、危険部位を完全に除去し消却しています。このように生産者、流通業者とも、産業まつりやしわ牛フェアなど機会を捉え、安全な「しわ牛」を積極的にPRし、消費拡大に努めています。

町でも狂牛病についての正しい情報の提供とともに、皆さんに安全・安心な「しわ牛」が届くよう、万全な対策をとり、取り組んでいます。

より確かな検査と個体情報管理

牛肉の検査をする食肉衛生検査所では、新しい機器を整備し、十月十八日から出荷されたすべての牛を検査しています。少しでも疑いのあるときは、二段階の検査を

行うなど厳密で、牛肉の安全性をより確かなものにしていきます。

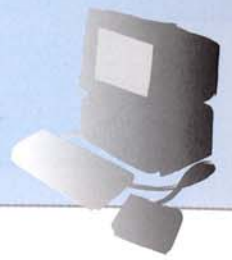
また県では独自に、牛の戸籍にあたる、牛一頭ごとのデータベースを作ります。このデータベースにより過去にどんなエサを与えたかが分かる仕組みになります。これで消費者にも情報を提供し牛肉の安全性がより透明化されます。

問合せ 農林課 ☎ 6722111
1 内線337 有線01893
1/県保健衛生課 ☎ 62915467

狂牛病の原因と感染のしくみ…狂牛病は、ウイルスより小さな感染因子である異常プリオンタンパク質が原因とされ、異常プリオンを含む肉骨粉などの飼料を牛に与えることにより発病するといわれています。狂牛病は、感染した牛の脳や脊髄、目、小腸の最後の部分で感染するといわれ、これらを含まない食肉や牛乳・乳製品は、食べても安全です。



町の肉牛生産では、安全・安心、そして高品質な牛肉のために、肉骨粉は与えていません



男女で協力しあい

住民の力を

地域づくり

男女共同参画社会の実現に向けて

男女が対等なパートナーとして社会のあらゆる分野に参画し、その個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現を目指して、町では皆さんと一体になって、国、県の基本方針を踏まえながら、推進のための基本計画を策定します。

男女が共に輝く、心豊かな社会

少子高齢化の進展、国内経済の成熟化と国際化、情報通信の高度化、家族形態の多様化など急速に進む時代の変化を的確にとらえ、多様で活力ある地域社会の構築が求められています。地域の活力を高め、変化に対応していくためには、地域に住む女性や男性が、その個性と能力を発揮できる社会をつくることが重要です。

すべての町民がプランナー

人だれもが一人の人間として尊重され、伸びやかで充実した人生を送る権利があります。また社会の構成員として、等しく政策、方針決定過程に参画し、その利益を享受するとともに、責任を担うことが必要です。男女共同参画社会の実現は、すべての人に共通した課題です。一人ひとりが自らの問題として基本計画の策定に、積極的に参画しましょう。

今後、男女共同参画社会の実現に向けて、このコーナーでさまざまな情報をお届けします。ご意見をお寄せください。

【担当】 社会教育課 ☎ 672-3362 有線 01-8941

シリーズ
男女共同
参画社会
を目指して

65歳以上（接種時の年齢）で希望する人に インフルエンザの予防接種

【問合せ】 長寿健康課保健係 ☎ 672-4522

委託医療機関の一覧

【必ず予約のうえ、接種を受けてください】

医療機関名	所在地	電話
はたふく医院	日詰字石田3-2	672-2121
足澤放射線科	日詰字西裏128-1	676-3555
渡辺内科医院	日詰字下丸森122-3	672-3667
平井医院	日詰字下丸森138-2	672-3200
加藤内科医院	高水寺字中田207	672-3699
志和診療所	上平沢字川原52	673-7805
直嶋医院	上平沢字川崎84	673-6967
角田内科医院	桜町字大坪60-2	672-2050
はこざき脳神経外科クリニック	桜町字三本木167-1	671-1515
岩手県立紫波病院	桜町字三本木32	676-3311
川守田医院	北日詰字八反田53	676-5553
横川産婦人科医院	北日詰字東ノ坊28-3	676-3811
平和台病院	犬渕字南谷地108-3	672-2266

インフルエンザが流行する季節が近づいてきました。町では、予防接種法の一部改正により、六十五歳以上でインフルエンザの予防接種を希望する人の費用の一部を公費負担することになりました。次の内容を確認のうえ、ご利用ください。

【期間】 平成十三年十一月十五日（木）～平成十四年一月三十一日（木）

【接種回数と料金】 一回、三千円を公費負担で、これを超えた額は自己負担

【実施方法】 左表の町が委託する医療機関で個別に接種を行います。六十五歳以上であることを確認するための健康保険証を必ずご持参ください。また接種は電話で予約をしてください。

火葬場輸送車（霊きゅう車） の運行業務を廃止

平成十四年四月からは
民間業者に業務を引き継ぎます

昭和四十七年から皆さんにご利用いただいていた火葬場輸送車（霊きゅう車）運行業務を、平成十四年三月末日をもって廃止することになりました（九月議会でご承認をいただいております）。

理由は次のとおりです。

【1】民間の霊きゅう車の普及により、町で行っている霊きゅう車運行業務と競合する状況にあること。

【2】競合する結果、町営火葬場利用者の霊きゅう車の利用が大幅に減少していること。

【3】町民の代表からなる紫波町行政改革推進委員会において、「民間の霊きゅう車の普及により、霊きゅう車運行業務が競合しており、町の霊きゅう車更新時には、民間の活力への移行を図るべきである」との意見をいただいた経緯があること。

これに伴い平成十四年四月以降は、民間葬祭業者へ霊きゅう業務を引き継ぐこととなりますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【問合せ】町民課窓口係 ☎672-2111

11 内線142

農業の管理にご協力を

農林水産省から農家の皆さんへ

米国における同時多発テロ事件などに関連した国内でのテロ行為防止のために、農業の保管・管理にご協力ください。

① 農業の保管・管理をしっかりとって、盗難、紛失の防止に努めましょう。

※特に、毒物または劇物に該当する農薬については、次のことに気をつけてください。

① 鍵のかかる保管庫などの整備

② 保管量の定期的なチェック、利用状況の記録

② 農薬の盗難、紛失事故が発生した場合は、直ちに警察署に届けましょう。

紫波町公民館大会 紫波町民憲章推進大会

平成十三年度紫波町公民館大会・紫波町民憲章推進大会が次のとおり開催されます。

皆さんの参加をお待ちしています。

【日時】十一月三十日（金）、午後一時から

【会場】中央公民館 集会室

【内容】花いっぱいコンクールなどの各種表彰／自治公民館活動に関する分科会

【問合せ】中央公民館 ☎672-3372

有線01-29926

都市計画に関する 住民説明会を開催

赤石地区に予定している日詰駅前地区土地区画整理事業と都市計画道路（北日詰箱清水線）について、町民の皆さんから広くご意見をうかがうため、住民説明会を開催します。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

【日時】十二月二日（日）、午後二時から

【場所】赤石公民館

【問合せ】都市計画課計画係 ☎672-2111 内線524 有線01-8831

町の講座から温かな善意が生まれました

パンが結ぶ善意の心

小野寺恵パン作り教室の第一期修了生の皆さんから、十月十三日・十四日に開催された産業まつりでのパンの売り上げとして七三、七五七円が社会福祉協議会に寄付されました。

小野寺恵パン作り教室は、小野寺恵さん（盛岡市）を講師に、ラ・フランス温泉研修館で開催されていたもので、本格的なパン作りができることあって大勢の皆さんが参加してきました。

町の講座から生まれた善意の心に、御礼申し上げます。

多重債務に悩んでいる人へ

くらしの地域相談会 開催のお知らせ

町ではサラ金、クレジットなどによる多重債務に関する相談会を開きます。当日は専門の信用生協相談員が皆さんのご相談をお受けしますので安心してご来場ください。なお電話であらかじめご予約ください。

【日時】11月30日（金）、午後2:00～7:00

【場所】総合福祉センター2階

【問合せ・予約】企画課商工労政係

☎672-2111 内線326 有線01-8891



越田幸洋さん を招いて

図書ネット1周年記念&図書ボランティア養成講座 読書と図書館を考える公開講座

教育委員会と図書館を考える会では、図書ボランティア養成講座の第6回として、どなたでも参加できる公開講座を開催します。講師には栃木県鹿沼市で地域と学校、図書と子どもたちを結びつける活動を続けてきた越田幸洋さんです。講座終了後には、越田さんを囲んで自由に意見を交換する会も開催しますので、皆さんのご参加をお待ちしています。

図書ボランティア養成講座 「3倍になった子ども達の読書量」

【日時】11月24日(土)、午前10:00~正午

【場所】サン・ビレッジ紫波

【参加料】無料(どなたでも参加できます)

越田さんを囲んでフリースペース 「町ごと全部子ども図書館」

【日時】11月24日(土)、午後0:30~2:00

【場所】サン・ビレッジ紫波

【参加料】昼食代1,000円(事前申込が必要です)

【問合せ・申込】教育委員会 ☎672-3372
内線40

越田幸洋さんのプロフィール:1951年生まれ。小学校教員後、社会教育主事として14年間生涯学習・社会教育行政を担当。今春、再び学校に勤務。学社融合システムや住民主導生涯学習システムの研究開発がライフワーク。「学校と地域の融合研究会」に所属し、融合プログラム研究開発委員長を務める。

住宅ローン返済に困っている人へ

住宅金融公庫の住宅ローンを返済中で、最近の不況に伴う失業や収入の減少などで返済にお困りの方に対しては、次のような返済方法の変更を実施しています。

- ①返済期間の延長(最長十年)
- ②元金据置期間の設定(最長三年)
- ③元金据置期間中の金利引下げ

取扱期間は、平成14年3月末日までです。

【問合せ】住宅金融公庫東北支店 ☎022-227-5003か
ご返済中の金融機関の相談コーナーまで

アヴニール紫波見学会の開催

紫波中央駅前の住宅地のアヴニール紫波で、現地見学会が開催されます。当日は建売住宅や分譲宅地の案内のほか、住宅相談・資金相談も行われます。またアンケートも実施され、回答者には抽選で景品を進呈します。

【日時】11月23日(勤労感謝の日)

午前10:00~午後3:00

【場所】アヴニール紫波団地内特設会場(紫波中央駅前)

【問合せ】アヴニール紫波住宅公社紫波事務所
☎672-5960

「高齢者の居住の安定確保に関する法律」とは?

高齢者になると住宅内でのけがや、賃貸住宅への入居拒否など住まいに関するさまざまな不安が生じてきます。そうした不安をなくし、高齢者が安心して生活できるよう「高齢者の居住の安定確保に関する法律」が今年4月に制定され、10月1日から完全施行になりました。

次のような3つの柱で、高齢者にやさしい住まいづくりが進められます。

1 バリアフリー化の高齢者向け優良賃貸住宅の供給

バリアフリー化された高齢者向け優良賃貸住宅を建設したり、既存の住宅を高齢者向けの優良賃貸住宅とするためにバリアフリー、リフォームをした場合、国・地方公共団体からの補助や税制上の優遇措置(新規建設のみ)が受けられます。

2 高齢者の持家のバリアフリー化を推進

高齢者自身が自宅をバリアフリー、リフォームする場合、ローンの返済を軽くする住宅金融公庫の特別の融資制度ができました。

3 高齢者が安心して入居できる賃貸住宅市場を整備

高齢者世帯でも入居できる賃貸住宅を都道府県知事に登録し、高齢者にその賃貸住宅情報を提供する体制が整備されます。

また終身にわたって安心して住み続けられる「終身建物賃貸借制度」が創設されます。

【問合せ】岩手県県土整備部建築住宅課住宅企画係
☎629-5933 ☎651-4160

旧軍人軍属・遺族などの 恩給援護巡回相談

旧軍人軍属とその遺家族の皆さんなどを対象に恩給援護のための巡回相談を実施します。当日は県の担当課が旧軍人軍属に関する恩給法や、援護法全般に関してご相談をお聞きますので、希望される人はお気軽にお出かけください。

【日時】11月26日(月)、午前9:00～午後3:00

【場所】盛岡地区合同庁舎

【相談内容】●旧軍人の普通恩給、傷病恩給、一時金、扶助料 ●旧軍属の障害年金や遺族年金 ●戦没者などの遺族に対する特別弔慰金 ●その他恩給や援護にかかる全般的事項

【持参するもの】恩給証書、年金証書、裁定通知書、軍隊手帳、各種証明書または写真など相談に関する資料

【問合せ】岩手県地域福祉課 ☎629-5481 (直通)

平成13年度 子育てボランティア養成講座

盛岡地方振興局では子育て中の皆さんが安心してイベントや講演会などの社会参加ができるような環境にするため、託児ボランティアの養成講座を開設します。受講料は無料で、修了者には修了証書を交付し、居住地の社会福祉協議会にボランティア登録する予定です。

【日時】12月18日(火)、19日(水)、20日(木)

【場所】盛岡地区合同庁舎 8階講堂C

【対象】(1)子育て経験のある人 (2)保育士資格のある人 (3)その他、地域で子育てを応援したいというボランティア活動に関心と熱意のある人

【募集定員】30人程度

【講習内容】●子育てボランティアとしての心がまえ ●子どもの発達と健康 ●子どもの社会性と生活習慣 ●子どもの食事 ●子どもの遊びのいろいろ ●母子保健サービス ●保育施設実習

【申込期限】12月12日(水) ※定員になり次第締め切り

【申込・問合せ】生活環境課福祉係 ☎672-2111 内線157 有線01-8921

平成14年用年賀はがき好評発売中!!

郵便局では、平成14年用年賀はがきを発売しています。種類は、無地・インクジェット・寄附金付きインクジェット・絵入(チャグチャグ馬コ)です。各種類とも数に限りがありますのでお早めにご購入ください。

【問合せ】紫波郵便局 ☎672-3300

未検診の人はぜひ受診を 子宮がん検診案内

今年の婦人検診は終了しましたが、期間中に受けることができなかった30歳以上の女性を対象に、次の医療機関で個別子宮がん検診を行います。

【問合せ】長寿健康課 ☎672-4522

有線01-8991



期間	11月12日(月)～12月7日(金) 【日曜・祝日と11月30日(金)は除きます】
受付時間	平日/午前9:00～正午・午後2:00～5:30 土曜/午前9:00～正午
場所	横川産婦人科医院(指定)(北日詰字東ノ坊) ☎676-3811
料金	自己負担1,700円(受付で納入) 町負担4,600円

精神保健相談のお知らせ

現代は、ストレスの時代です。飲酒による迷惑や、家族の痴ほう症などで困っている人は、いらっしゃいませんか。町では、専門医師による相談を次の日程で開催します。気軽に相談にお出かけください。相談希望する人は、保健センターまで申し込みください。

【日時】11月29日(木)、午後1:00～2:00

【場所】保健センター2階会議室

【相談医師】平和台病院院長 伴亨先生

【申込・問合せ】保健センター ☎672-4522 有線01-8991

ヘルスサポーター講習会 参加者募集!

町では健康づくりの実践者として、地域で広く活躍できる「ヘルスサポーター」養成の講習会を開催します。食生活を通したボランティア活動を行っている食生活改善推進員と共に健康づくりを進めていきませんか。

【日時】11月28日(水)、午前9:00～午後2:00

【場所】中央公民館

【対象】成人男女(先着50名)

【講習内容】●ヘルスサポーターとは? ●「健康日本21」って? ●肥満対策、健康チェック! ●塩分が気になる人のために～調理実習～ ●登録証授与式(講習会を終了した人には登録証が交付されます)

【申込期限】11月22日(木)

【申込・問合せ】長寿健康課保健係 ☎672-4522 有線01-8991



逆風なんのその。
苦労の結果は品質、
そして味が証明

シリーズ「働く人に会う」 完売は当然

「狂牛病」——この病が、実態のない「ことば」として一人歩きしてから約二カ月。多くの関係者が「安全」を確認してもなお逆風のまっただ中にある。「しわ牛研究会」の皆さんもその中の一団体だ。「水稲ホルクroppラップサイレージ」という、わらだけでなく、実も一緒に発酵させた飼料で育てるなど、良質な飼料と環境に取り組み、徐々に「しわ牛」ブランドを定着させてきたところに、この騒ぎになった。十月十三日・十四日の産業まつりの開幕前も、売れ行きに対する見方は厳しかった。「タベも寝る前に考えてさ……」「ホント、どうなるのかなあ……」。写真撮影では明るく振る舞ってくれた皆さんだが、その胸中には、不安がどっしりと根を下ろしているようだった。しわ牛のおいしさを知っている一人として、この日はロースを買い求め自宅まで味わった。しつこさのない脂、柔らかな肉質——塩とコショウだけなのに、それ以外のうま味が口いっぱいに広がる。翌日も購入しようと、昼ごろブリスに近づく「完売御礼」の手書きポップが冷蔵庫に貼り付けられていた。会場の中央で談笑しているメンバーに、おめでとうを言うおとして足を止めた。もう知っているのだ。町のみんなも、メンバーたちも。しわ牛のおいしさ、安全さ、そして熱心さを。

山王ダム完成に思う

【町長メッセージ】

アテルイ亡き後、紫波地方は坂上田村麻呂により中央政庁の北辺要衝の地として発展し、高水寺が開かれ、その僧侶の影響もあって稲作が大いに広がりました。それにより滝名川が重要な水源となりましたが、水不足時には争いが絶えず、儀を鑑代わりにしての死者が出るほどのし烈な戦いが昭和初期まで続きました。

明治三十年ころより地域の先駆者たちがダムの必要性を訴え、国営事業で実現できるような要望を重ねた結果、昭和十九年に着工しました。当時は「物のない時代」でありました。しかし農水省の技官たちが実験を重ねて石と土で作る方式を考案し、東洋一のアースダムが昭和二十七年に完成したのです。

その後、農業の近代化が進み、新たな水源確保の必要性から、今回のかさ上げ工事に着手し、旧ダムの四倍の水量を確保するダムが完成を見たのであります。

落成するに当たり忘れることができないのが、旧ダムの湖底に沈んだ山王海の集落三十六戸の方々の大きな犠牲です。深い近隣愛と固い絆で結ばれ、平和に暮らしていた祖先から受け継いだ地を去り、それぞれ分散して新天地に暮らしを求めていった皆様方の並々ならぬ苦労を思うとき、ダムの恩恵を享受している町民の皆様方共々、深く深く頭の下がる思いであります。

今後は平安の湖としてダムの機能を十分に活かして町の活性化の一助としてまいります。完成に尽くされた関係者の皆様と先人の方々に御礼を申し上げ、後世に長く語り継がれることをお祈り申し上げます。

(藤原 孝)

編集後記 紫波みらい研究所主催の「食が創るいのちのみらい」シリーズが始まりました。今回は表紙の郷田美紀子さんがゲスト、第2回は11月17日に料理本でもおなじみの「分とく山」総料理長の野崎洋光さんが来町。今から楽しみです。(佐藤)

【ご意見・情報は】
企画課「紫波ネット」情報係まで
【ホームページアドレス】
<http://www.town.shiwa.iwate.jp>
【メールアドレス】
info@town.shiwa.iwate.jp

【紫波ネット11月号】〈平成13年11月10日発行〉
発行◆紫波町
〒028-3390
岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1
☎672-2111
印刷／川崎印刷株式会社